

第6回文化政策部会
基調講演

「アーツカウンシルの
機能強化に向けて」

2022年10月13日

石田麻子



【ACEおよびCS】



平成30年9月
学校法人東成学園

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業

イングランド及びスコットランドにおける
文化芸術活動に対する
助成システム等に関する実態調査

報告書

【オーストラリア・カウンシル】



独立行政法人日本芸術文化振興会
委託事業

オーストラリアにおける
文化芸術活動に対する
助成システムに関する実態調査
報告書

令和2年9月

株式会社文化科学研究所

【各組織の公式文書（全訳）】

〈英国〉

◎DCMS: *Culture White Paper*
(2016年)

[ACE 10年戦略]

◎*Great Arts and Culture for Everyone*(2013年～2020年)

◎*Let's Create!* (2020年～2030年)

[CS 10年戦略]

◎*Unlocking Potential, Embracing Ambition* (2014年～2024年)

〈オーストラリア〉

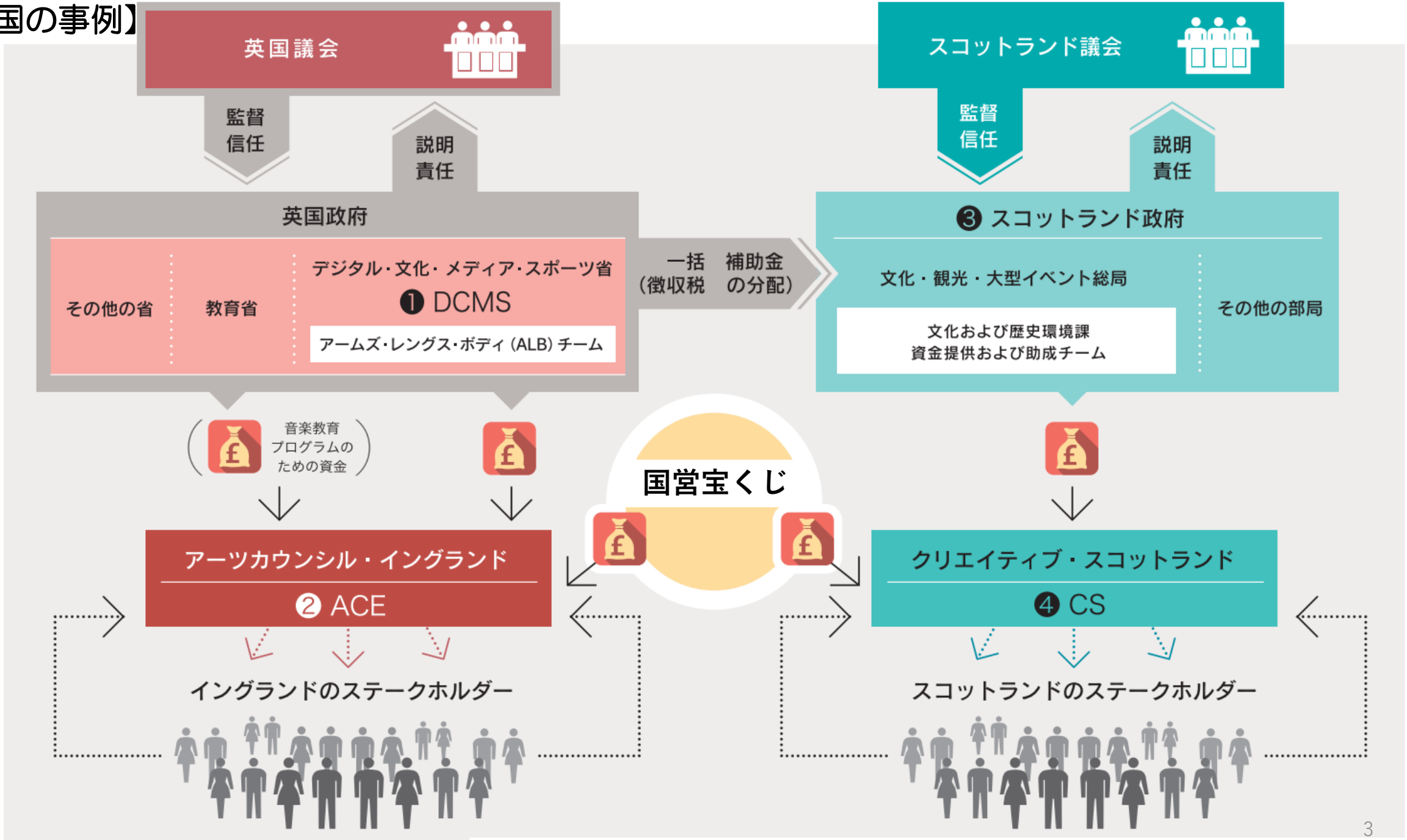
[AC コーポレートプラン]

◎*Creativity Connects Us*
(2019年～2023年) ほか

〈カナダ〉

CCA 現在進行中

【英国の事例】



出典：「イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査」より一部筆者改訂

アーツカウンシルとは何か

◎芸術文化活動や芸術文化団体などを育成する機関である

- 公的資金の戦略的投資をおこなう役割
- 創造活動に適した組織づくりや個人の活動を支える役割
- 芸術文化助成の役割を社会に対して説明する役割（→納税者に対する発信）

◎芸術文化助成の考え方

- 戦略的投資としての芸術文化助成
- 戦略目標の提示と助成事業への反映
- 「アームズ・レングスの原則」の実現
- 芸術文化団体への継続的な助成制度
- レジリエンスの確保：急激な社会変化などへの対応
- 芸術文化振興を担う専門家（RM、POなど）の集合体

◆ 課題は： 組織構築二人の確保、資金確保

長期戦略の策定 ACEの事例 ～10年戦略～

なぜ長期的視点が
必要なのか

- 10年戦略の策定・公表、戦略目標の提示
 - ・適切に助成すれば成果はすぐに現れるのか？
 - ・長期的に取り組めば効果があがるのか？

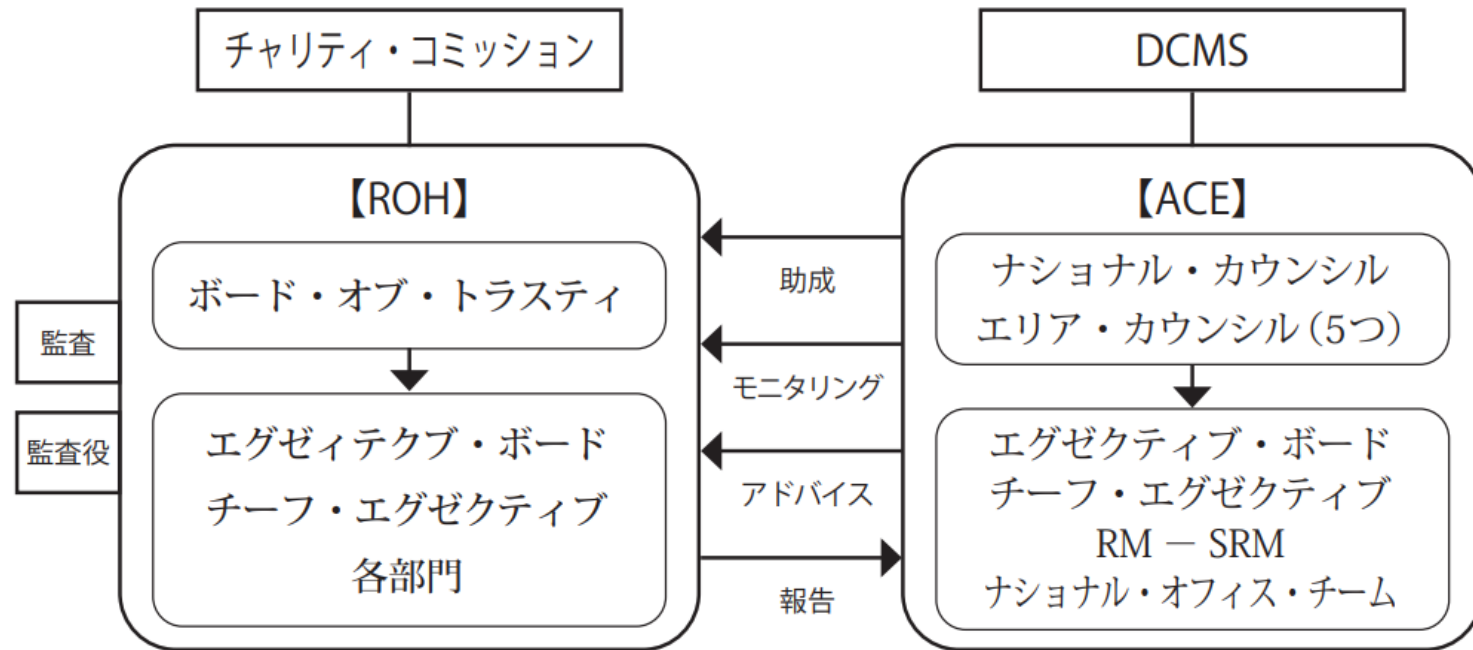
◎キーワードによる共通理解（2010年～）

- ✓ 卓越性の獲得：優れた芸術文化活動のための戦略的投資
- ✓ アクセスの確保：創造活動の成果をあらゆる人びとが楽しむ機会の提供
- ✓ レジリエンスの獲得：
政治や経済、社会の急激な変化から創造活動を「守る」、緩衝機能
- ✓ サステナビリティの獲得：
公的資金の投資をつうじて創造活動をおこなう芸術文化団体や個人の活動が持続可能性を獲得
- ✓ 多様性：地域、人などの多様性への意識

◎概念の提示／アウトカムと投資原則（2020年～）

- ✓ 【3つのアウトカム】クリエイティブな人びと、文化的なコミュニティ、クリエイティブで文化的な国
- ✓ 【4つの投資原則】アンビションと質、ダイナミズム、環境への責任、包摂的で適切である

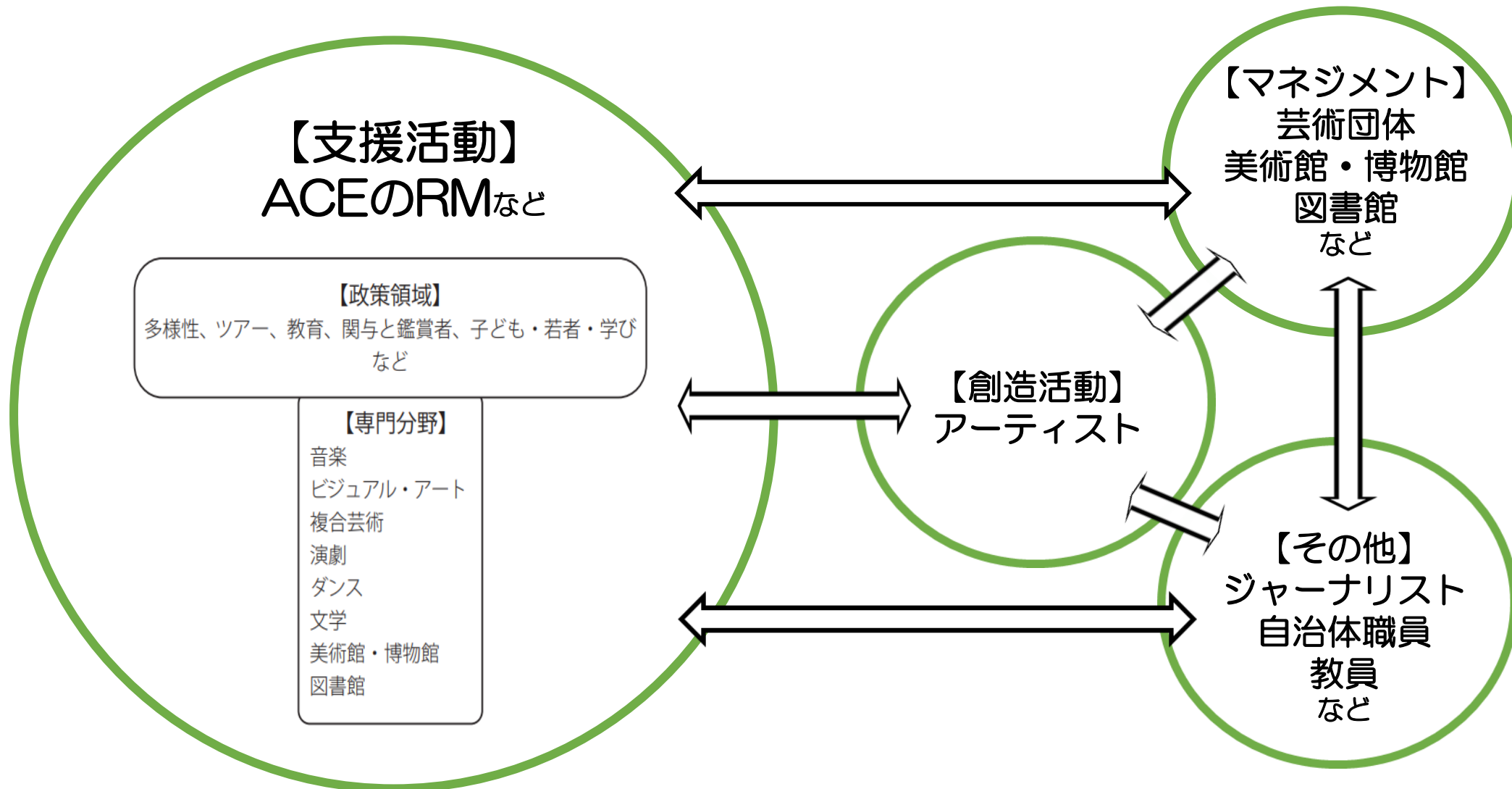
【ロイヤル・オペラハウス(ROH)とACEの関係】 石田麻子『芸術文化助成の考え方』p.201より転載



「アーツカウンシルをどのように機能させるのか」

- 芸術文化助成は国の文化政策を実現する手法の一つ
- 育成する役割： クリティカル・フレンド
芸術文化団体や個人が優れた創造活動を提供できるように「見守り」「励まし」「育てる」役割を担う

アーツカウンシルをめぐる人材 ～芸術文化振興を担う専門人材の循環～



なぜアーツカウンシル機能の強化が必要なのか

～日本の状況から考える

- 日本でアーツカウンシルが制度として導入されて10年以上経過
 - @独立行政法人 日本芸術文化振興会 基金部
 - 国立劇場等を管理運営する法人の1部署としての位置づけ
 - ✓ 助成団体のモニタリング、活動等評価、審査時のアドバイス機能など
 - ✓ 公的資金を芸術文化に投資する意義・効果を納税者に説明する機能
- 「芸術文化振興機関」として：助成分野の拡大、芸術文化振興を担う機能を集約、政策提言機能を。
- 政策官庁と執行機関の連携と役割分担を明確に。
- 近い将来起きること
 - 文化庁京都移転、国立劇場の建て替えなど

主要参考文献（一部再掲）

- イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査
- オーストラリアにおける文化芸術活動に対する助成システムに関する実態調査
- 石田麻子『芸術文化助成の考え方』美学出版、2021年

連絡先： ishida@tosei-showa-music.ac.jp

